

女川原子力発電所2号炉 説明スケジュール

今後の審査の進捗、資料提出の状況により変更の可能性あり。

主要な審査項目	審査状況	審査回数 実績回数 ^{注1}	審査内容 至近実績	準備状況 (%) ^{注2}	平成29年												平成30年												備考																		
					10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月				6月			7月			8月											
					2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	5	12		19	26	2	9	16	23	30	7	14	21	28	4	11	18	25	2	9	16
地震・津波	地質	敷地の地質・地質構造	(概ね審議済)	6回	H29.6.9																																										
		敷地周辺の地質・地質構造	(概ね審議済)	10回	H28.4.1																																										
	地震動	地下構造	(概ね審議済)	2回	H27.2.20																																										
		震源を特定して策定する地震動	(概ね審議済)	7回	H28.11.4																																										
		震源を特定せず策定する地震動	(概ね審議済)	2回	H28.11.4																																										
		基準地震動	(概ね審議済)	2回	H29.8.10																																										
	津波	基準地震動の年超過確率の参照	(概ね審議済)	2回	H30.3.23																																										
		*3.11型地震以外の津波	(概ね審議済)	4回	H28.9.30																																										
		*3.11型地震以外による津波	(概ね審議済)	2回	H28.9.30																																										
		基準津波	(概ね審議済)	1回	H28.9.30																																										
		津波評価について(基準津波の年超過確率の参照、砂移動評価)	(概ね審議済)	3回	H29.4.28																																										
地震・斜面の安定性(第3条)		0回	—	90																																											
火山事象	(概ね審議済)	3回	H29.2.24																																												
プラント	耐震設計方針(第4.39条) ※第3.38条の設備の地震への対処も含む	(別紙1参照)	12回	H30.6.7	(別紙1参照)																																										
		(別紙2参照)	4回	H30.3.20	(別紙2参照)																																										
	外部事象(第6条)	電巻に対する設計方針		6回	H30.5.31	90																																									
		論点 電巻防護ネットの構造及び耐震評価		0回	—	100																																									
		火山に対する設計方針		0回	—	100																																									
		外部火災に対する設計方針		3回	H27.3.19	90																																									
		その他の自然現象等に対する設計方針	(概ね審議済)	2回	H29.12.19	100																																									
		内部火災(第8条)、SA設備火災(第41条)		7回	H30.5.10	90																																									
		論点 中央制御室床下ケーブルビットの分離対策について		1回	H29.11.14	90																																									
		論点 原子炉格納容器内火災防護対策について		1回	H29.11.14	90																																									
		論点 第一次災害発生時の安全停止機能維持について		1回	H29.12.19	90																																									
		内部漏水(第9条)	(概ね審議済)	4回	H30.4.3	100																																									
	DB	安全施設等																																													
		不法な侵入(第7条)		1回	H30.3.22	100																																									
		振操作の防止(第10条)		2回	H27.8.2	100																																									
		安全避難通路(第11条)		2回	H27.8.2	100																																									
		安全施設(第12条)		4回	H30.4.12	100																																									
		全交流電源喪失(第14条)		1回	H30.3.29	100																																									
		使用済燃料プール(第16条、23条)		0回	—	100																																									
		原子炉冷却材(バウンダリ)第17条)		3回	H30.5.31	100																																									
安全保護回路(第24条)			2回	H27.8.2	100																																										
原子炉制御室(第26条)		(SA制. 59条でご説明)																																													
監視設備(第31条)	(SA制. 60条でご説明)																																														
保安電源(第33条)		1回	H30.3.29	90																																											
緊急時対策所(第34条)	(SA制. 61条でご説明)																																														
通信連絡設備(第35条)	(SA制. 62条でご説明)																																														

【凡例】

- 審査会合を実施中の項目
- これまで審査会合を実施していない項目
- クリティカルパスとなる項目
- 審査会合希望時期
- 追って資料提出時期

※耐津波 2 防漏場の構造成立性
 対象施設が追加となった場合は変更の可能性あり

関連:その他自然現象(6条)
 関連:耐震設計方針(4条)、内部火災(8条)
 電巻防護ネット設計の影響評価のため

関連:その他自然現象(6条)
 火山灰によるバクフィルタの閉塞試験の実施のため

特定化学物質予防規制改正による耐火材料変更に伴う試験実施のため

関連:内部火災(8条)
 新SAによるSPASロッキングの漏水量再評価のため

女川原子力発電所2号炉 説明スケジュール（耐津波関係）

別紙2

平成30年6月7日
東北電力株式会社

準備状況 (%)	平成29年度												平成30年度												備考																																										
	10月						11月						12月						1月							2月						3月						4月						5月						6月						7月						8月					
	2	9	16	23	30	6	13	20	27	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	2	9		16	23	30	7	14	21	28	4	11	18	25	2	9	16	23	30	6	13	20	27																						
耐津波設計方針（第5.40条）																																																																			
① 基準適合（共通）																																																																			
I. はじめに	90%																																																																		
II. 耐津波設計方針について																																																																			
1 基本事項																																																																			
1 津波防護対象の選定	90%																																																																		
2 敷地及び敷地周辺における地形及び施設の配置等	90%																																																																		
3 基準津波による敷地周辺の遡上・浸水域	70%																																																																		
4 入力津波の設定	70%																																																																		
5 水位変動・地盤変動の評価	90%																																																																		
6 設計または評価に用いる入力津波	70%																																																																		
2 設計基準対象施設の津波防護方針																																																																			
1 敷地の特性に応じた津波防護の基本方針	90%																																																																		
2 敷地への浸水防止（外郭防護1）	80%																																																																		
3 漏水による重要な安全機能への影響防止（外郭防護2）	80%																																																																		
4 重要な安全機能を有する施設の隔離（内郭防護）	70%																																																																		
5 水位変動に伴う取水水位低下による重要な安全機能への影響防止	70%																																																																		
6 津波監視	95%																																																																		
7 津波影響軽減施設	70%																																																																		
3 重大事故等対応施設の津波防護方針																																																																			
1 敷地の特性に応じた津波防護の基本方針	90%																																																																		
2 敷地への浸水防止（外郭防護1）	70%																																																																		
3 漏水による重要な安全機能への影響防止（外郭防護2）	70%																																																																		
4 重要な安全機能を有する施設の隔離（内郭防護）	70%																																																																		
5 水位変動に伴う取水水位低下による重要な安全機能への影響防止	70%																																																																		
6 津波監視	90%																																																																		
4 施設・設備の設計・評価の方針及び条件																																																																			
1 津波防護施設の設計	80%																																																																		
2 浸水防止設備の設計	80%																																																																		
3 津波監視設備の設計	95%																																																																		
4 施設・設備等の設計・評価に係る検討事項	80%																																																																		
② 観点「防溺境の構造成立性」																																																																			
1 防溺境の構造成立性																																																																			
1 設計方針	90%																																																																		
2 構造成立性	70%																																																																		
③ 観点「取放水路からの流入防止」																																																																			
1 取放水路からの流入防止																																																																			
1 設計方針	80%																																																																		
2 構造成立性	70%																																																																		

※1 実施中の評価。先行プラント審査の反映量の程度に応じて設定